



平成 29 年 11 月 27 日発行

宮城復興局気仙沼支所

気仙沼市笹が陣 3-5

気仙沼市シルバー人材センター内

つちおと

11/6^月

～ 「(仮称) 南町海岸公共・公益施設」安全祈願祭! ～

11月6日、気仙沼市が整備する「(仮称) 南町海岸公共・公益施設新築工事」の安全祈願祭が行われました。

この施設は、震災で被災した旧観光物産センター（エースポート）と旧勤労青少年ホームの機能を併せ持ち、地域住民や観光客が交流する地域拠点として再建するものです。施設には、貸事務室や貸店舗の他、展望ラウンジ、研修室、軽運動室、音楽室などが整備されます。全体事業費は約14億5,400万円で、東日本大震災による被災市街地の早期復興を図るための「優良建築物等整備事業」と「災害復旧事業」を活用しています。

挨拶のなかで菅原気仙沼市長は「市民が主役の街づくりの拠点として、多くの人が参加して、気仙沼の今後のあり方についてディスカッションし、さまざまな作戦を立てて、行動する施設としていきたい。」と語っています。

来春の完成を予定しています。



穿ち初めの儀で鍬をいれる菅原市長



イメージ図

<施設概要>

○構造等：鉄骨・鉄筋コンクリート造 3階建て

○建築面積：1,291.53㎡

○延べ床面積：2,390.66㎡

○施設内容等：

・観光物産センター 541.55㎡

1階 貸事務室、待合スペース等

2階 貸店舗、内湾ラウンジ、研修コーナー、キッズコーナー等

3階 展望ラウンジ 和室

・勤労青少年ホーム 569.01㎡

2階 軽運動室

3階 音楽室、談話室、研修室等

・共用部 1,280.10㎡

管理室、駐車場、通路、外部デッキ等

11/12^日

～ 鹿折津波記憶石 建立! ～

11月12日、鹿折南住宅の南側にある錦町公園に、津波記憶石が完成、除幕式が行われました。

玄武岩の六方石を中心に、鹿折中心部、白山地区、浦島地区の各シンボル（カモメ、ユリ、ポンポン船）を掘り抜いた御影石を3方に配置。裏表に公募した「未来へ伝えるメッセージ」が刻まれています。

地元有志の鹿折津波石実行委員会が地元企業や住民の寄付を集めたもので、一般社団法人全国優良石材店の「津波記憶石プロジェクト」としては、全国で32基目となります。



～ 進む震災復興【国道45号復興（志津川地区）】 ～

東日本大震災時、志津川地区の国道45号は水尻橋が流出。3月19日に自衛隊の応急組立橋により片側交互通行が可能となり、7月6日に仮設橋梁が完成し2車線での対面交通が可能となっています。

その後も地盤沈下等により、八幡川周辺では度々浸水による交通規制が発生しておりました。

国道45号の復興は、東日本大震災で甚大な被害を受けた志津川地区の区画整理事業と一体となって進められ、道路の嵩上げや線形改良を行っております。事業は平成24年度より着手。調整・設計・用地確保を経て、本格的な工事が平成26年度より開始されています。



自衛隊による応急組立橋による仮復旧（水尻橋）



仮設橋梁により2車線復旧（水尻橋）

施工延長は約2.5km、国道嵩上げ高さは約10m、盛土量は約37万 m^3 となっております。土は防災集団移転工事や津波復興拠点整備工事から流用しているため、関係機関との調整が重要となっています。

震災で被災した水尻橋の他、汐見橋の架け替えを実施。また新井田川付近においては国道を山側（新井田川右岸側）へ、ルート変更を行っております。

平成26年7月30日に第1回の交通切替えを行って以降、現在まで8回の交通切替えを実施しており、警察との打ち合わせも重要となっております。

10月末現在、汐見橋・水尻橋とも主桁架設が終了。今後は橋の高欄設置や舗装の他、光ケーブルの切替え、旧汐見橋の撤去等を行い、早期の完成を目指しているところです。



国道45号嵩上げ

現 国道45号

水尻川



八幡橋

さんさん商店街

防災庁舎

汐見橋

国道45号嵩上げ

八幡川

工事は国土交通省気仙沼国道維持出張所の監督のもと進められております。

苦勞した点等をお聞きました。『道路事業の遅れが、区画整理事業の土地引き渡し時期に影響するので、工事の遅延は許されない。慎重な工程管理が必要なため、国・県・町・警察等との合同会議を毎月実施している。』また『見晴らし台に事業内容や工事進捗状況のパネルを設置しているのでお気軽にご覧下さい。』とのお話を頂きました。

◆支所長コラム

朝夕めっきり冷え込む時候となり、我が家ではストーブを取り出してきたところです。皆様もお体にお気をつけ下さい。

さて、今月の『～進む震災復興～のコーナー』は国道45号復興（志津川地区）でした。震災当時、私は国土交通省の職員で、被災地から届く情報をとりまとめる他、被災現場にも足を運んでおりました。水尻橋にも調査にきており、当時を思い出しているところです。あれから6年8ヶ月が過ぎ、志津川地区における国道45号の復興も「そろそろ完成が近いなあ」と思うとともに、工事をご担当された施工業者さんをはじめ、関係された皆様のご尽力に深く感謝をするばかりであります。本当にありがとうございます。今度の春には新しい国道45号が完成していればいいなあと思います。（吉）

10/31^火

～ 商談会のシミュレーション 実施！ ～



10月31日、企業新事業（販路開拓）ハンズオン支援の一環として、気仙沼市の事業者を集めた商談会のシミュレーションを行いました。講師の先生がバイヤー役となり、各事業者がそれぞれの事業に合ったパターンを想定したロールプレイング形式で行われ、今後の「商談会参加」「展示会出展」「実際の商談」などの参加に備える準備として、参加事業者にとって有意義な経験になったと思います。

10/26^木

～ 「がんばる」サンマ漁船 進水！ ～

10月26日、水産庁の「がんばる漁業復興支援事業」を活用したサンマ棒受網漁船の進水式が行われました。

会場となった気仙沼市浪板の造船所には漁船建造やサンマ漁業の関係者などが集まり、神事と餅まきを行い、完成を祝いました。

船は199トン型で船型やエンジンは省エネ型で、乗組員の労働環境にも配慮されています。

仕上げの塗装や艀装等が行われた後、12月には出漁の予定です。



～ 応援職員だより【収量回復・農作物被害を防ぐ】～



応援職員の小野寺安孝さん（写真）。気仙沼市農林課に勤務、地元出身。平成28年5月から復興庁の復興支援専門員として農地復旧や野生鳥獣の被害防除対策に取り組んでいます。

現在、私は復旧・復興に関しては、東日本大震災の津波により低下した田畑の生産力を回復する事業に取り組んでいます。これは、有機肥料等の土壌改良資材を散布することで、農地の土壌改良を行い、震災前の収量に回復させることを目標としています。

このほかには、野生鳥獣による農作物への被害防除対策にも取り組んでおり、この野生鳥獣による農作物への被害は全国的にも大きな問題となっています。気仙沼市でも例外ではなく、毎年大きな被害を出しています。特にニホンジカによる被害が大きく、昨年度は586頭を駆除しました。

これからも、農地の復旧・復興そして農作物の被害防除に努めてまいります。

復興関連イベント

各地で開催される
復興イベントをご紹介します。

【12月3日（日）】けせんぬまお菓子フェア&あったげホヤぼーや【気仙沼市】

気仙沼市内のパン屋さん、お菓子屋さんが集結！美味しいお菓子とホヤぼーやグッズをありったけ集めたイベントです。親子ケーキ作り体験やスタンプラリー、ホヤぼーやとじゃんけん大会も。10時から午後2時半まで、海の市2階にて。

【12月29日（金）】志津川湾おすばでまつり復興市【南三陸町】

毎月の復興市ですが年末は更にスペシャル！年末年始用のおすばで（酒肴）だけでなく、新鮮な海の幸・山の幸を大放し出します。8時半から午後1時半まで、志津川仮設魚市場にて開催の予定。日曜日ではありませんのでお間違いなく。

【編集後記】

◆季節はすっかり冬、室内でも厚着をし、加湿器のお世話になっていますが、まだまだ寒くなるとわれ、ストーブを付けるタイミングを見計らっています。皆様も温かい牡蠣鍋など食べて、風邪など引かぬようお気を付け下さい。



気仙沼支所の 今月のベストショット Best☆Shot

気仙沼市松崎片浜の煙雲館庭園が
紅葉の見ごろを迎えていたよ。



～煙雲館～

仙台藩上級家臣鮎貝氏の旧居館であり、近代の国文学者で歌人・落合直文の生家としても知られています。現在、文部科学省文化審議会が国の名勝に指定するよう答申しています。

これまでに発行した「つちおと」は、復興庁ホームページで御覧いただくことができます。

- ①復興庁のホームページ
- ②宮城復興局
- ③気仙沼支所だより「つちおと」

「つちおと」発行元（お問い合わせ先）

復興庁 宮城復興局 気仙沼支所
電話 0226-23-5301
FAX 0226-23-5310

復興庁ホームページ

<http://www.reconstruction.go.jp/>